

第四十六回帝國議會 衆議院

日本勸業銀行法中改正法律案外三件(產業組合中)委員會會議錄(速記)第六回

會議

大正十二年二月二十八日午前十時四十分開議

出席委員左ノ如シ

委員長 武藤 金吉君

理事 星島 二郎君

秋本 喜七君

松浦五兵衛君

瀧 正雄君

紫安新九郎君

出席國務大臣左ノ如シ

農商務大臣 荒井賢太郎君

出席政府委員左ノ如シ

法制局長官 馬場 銖一君

大藏省銀行局長 黒田 英雄君

大藏省參事官 藤井 眞信君

大藏書記官 岡田 信君

農商務次官 岡本英太郎君

農商務省農務局長 長滿 欽司君

委員長ノ許可ヲ得テ出席シタル者左ノ如シ

鈴木久次郎君

本日ノ會議ニ上リタル議案左ノ如シ

產業組合中央金庫法案(床次竹二郎君外十一名提出)

○武藤委員長 是ヨリ會議ヲ開キマス、先ヅ質問ノ前ニ御諮リヲ申上ゲタイト思ヒマスガ、今日午前中ニ於テ大體ノ質問ヲ打切リタイト思ヒマスガ、就キマシテハマダ通告ノ土井君ノガ殘テ居リマスガ、其他ニモゴザイマシタラバ、今日午前中ニ御願ヲ致シタイト思ヒマス、同日質問ハ餘リ重ネヌヤウニ御願致シタイト思ヒマス、昨日アタリハ大分重テ居ルヤウデアリマスカラ、人ガ變リマシテモ質問ハ餘リ重ネテ願ヒタクタイト云フコトニ一ツ願ヒタイト思ヒマス

○土井委員 昨ハ昨日カラ委員ニナッタヤウナコトデアリマス、或ハ重複スルカモ知レマセヌガ、其點ハ惡シカラズ御了承ヲ願ヒマス、特ニ本件ニ關シマシテ、御承知ノ通り建議案ヲ私ハ提出致シタイトデアリマス、其當時此中央金庫ノ骨子ヲ共ニ提出致シマシタ、其骨子ト此所ニ提案サレテ居リマス中央金庫法ト、稍々異テ居ル點ノミニ付テ御尋ヲ致シタイトデアリマス、第一ニ御尋シタイトハ、條文ノ重複ノ點デアリマス、ソレハドレヲ言フカト云フト、第一條ノ第

二項ノ「產業組合中央金庫ノ組織ハ有限責任トシ產業組合聯合會及產業組合ヲ以テ之ヲ組織ス」トアリマスガ、是ハ要ラヌ條文デアラウト思ヒマス、何故ナラバ第五條、第七條ニ於テソレ等ノ事ガ明ニナツテ居リマス、特ニ有限責任ト云フコトハ御承知ノ通り第七條ニ於テ商法準用ト云フコトガアリマスルガ故ニ、此商法準用ト云フコトデ、當然有限責任ナリト云フコトガ明ニナルト思ヒマス、故ニ第一條ノ第二項ヲ削除ナル意思ナキヤ否ヤ、其事ガ御伺シタイトノデアリマス、之ニ付テ申上ゲタイトハ、元來中央金庫制ハ私ノ思フニハ、絕對相互主義ト相對相互主義トアルグラウト思フ、私ガ作ッタヤウナ言葉デアリマスカラ、御分リニナラナイカモ知レマセヌガ、絕對相互主義ト云フト、組合——所謂單一ナル組合ニ更ニ郡ナラ郡一區域トシテ聯合會ヲ作り、其郡ノ聯合會ガ更ニ縣ノ聯合會ヲ作り、縣ノ聯合會ハ更ニ進ンデ國一區域トスル聯合會ヲ作ッテ、兎ニ角他ノモノヲ入レズ、組合ノミニ依ッテ行フ、他ニモ頼ラナイ、政府ニモ頼ラナイ、唯、組合ノミニ相互、之ヲ假ニ私ハ絕對相互主義ト名ツケテ居リマス、サウデナイ、或ハ政府ガ中ニ入ルトカ、國ガ組合ノ中ニ入レテ、而シテ社會政策ナゾ加味スル所ノ中央金庫ノ如キ造方ヲ、相對相互主義ト云フ名ヲ付ケテ居リマス、ソコデ第一條第二項ノ「產業組合中央金庫」云々「有限責任」云々ト云フ文字ヲ見ルト、絕對相互主義ノ如ク聞エマス、而シテ絕對相互主義ニ依ルト、實際ノ運用ノ上ニ於テ非常ニ不便ノ事ガアル、折角中央金庫ガ出來マシテモ、何等機能ヲ發揮シナイコトガアルト思ヒマス、ソレハ昨日モ農商務次官ガ東京府ヤ兵庫縣等ニ於テハ聯合會ハ發達シテ居ル、斯ウ云フ例ヲ御舉ゲニナリマシタガ、現在東京府ニ於テモ、兵庫縣ニ於テモ、聯合會ガ金ガ無クテ困ッテ居ル、普遍的ニ產業組合ガ圓滿ニ金ヲ貸付ケルコトガ出來ナイ、ソレハ郡聯合會、府聯合會ガ、先刻私ガ述べマシタ絕對相互主義ヲ採ッテ居ル爲デアリマス、ソレ故低利資金ナゾ餘リ澤山運用ガ出來ナイ、斯ウ云フ實例ニナツテ居リマス、ソコデ埼玉縣ノ如キハ、到底絕對相互主義デハ產業組合ノ機能ヲ發揮シ、金融ヲ圓滿ナラシムルコトガ出來ナイト云フノデ、組合ガ別ニ武總銀行ヲ拵ヘテ、絕對相互主義デナク絕對相互主義ヲ採用スルノ已ムナキニ至ッテ居ル、斯ウ云フ例ガアリマス、又東京府ニ於テモ聯合會ノ機能ヲ發揮スルコトガ出來ナイ、絕對相互主義ヲ發揮スルコトガ出來ナイガ故ニ、東京府下ニアル所ノ產業組合ガ更ニ株主トナツテ一千万圓ノ銀行ヲ

拵ヘテ、所謂絕對相互主義ヲ排シテ、相對相互主義ヲ探ラウデハナイカト云フノデ調査會ヲ開キ、所謂委員ヲ設ケ、現ニ銀行ヲ造ラウト云フ議ガ今日上ッテ居ルヤウナ狀態デアリマス、ソレナラズ低利資金ヲ運用スル上ニ於テモ、絕對相互主義デハ大藏省ノ管理サレテ居ル所ノ低利資金ナドガ圓滿ニ融通スルコトガ出來ナイ、所謂庶民ヨリ集メタル所ノ預金部ノ金ヲ、還元ト云フ事ノ出來ナイ狀態ニ在ルデアリマス、昨年デアリマシタカ農商務省三行ッテ、ドウモ低利資金ガ本年ハ廻ラナイヤウデアリマスガ、如何デゴザイマスカト尋ネルト、農商務商ハ曰クドウモ毎年七月ガ決定期ナルニ拘ラス、本年ハ決定ニ相成ッテ居ラナイ、確カハ十一月頃デアッタト思ヒマスガ、ソレハ物價調節トカ何トカ云フ問題ガヤカマシイ爲カニ、餘リ通貨ト云フモノヲ世ノ中ニ出シタラバ、物ノ値段ヲ下ゲルコトガ出來ナイト云フ意味ヨリシテ、大藏省ハ低利資金所謂預金部ノ金ヲ出サレナイデアラウト思フ、斯ウ云フ話ガアッタノデアリマス、即チ絕對相互主義ト云フコトニナルトサウ云フ弊ガアリマシテ、折角ノ中央金庫ト云フ社會政策ヲ實行シナケレバナラヌト云フ立派ナ施設制度ト雖モ、此目的ヲ達スルコトガ出來ナイト云フコトニナリハシナイカト考ヘルノデアリマス、是ガ即チ條文重複ニ關シテノ問題デ、法文ノ作り方、立法上ノ點カラ御尋致シタイトデアリマス、是ガ第一問デアリマス、ソレカラ第二問致シマシテ御尋シタイトハ、所屬組合ノ事デアリマス、ソレハ第十三條ニ屬シテ居リマス、是モ御議論ノアツタコトト思ヒマス、單ニ所屬產業組合ノミニ金ヲ貸シ、所屬ノ產業組合ニ非ザルモノハ何等關係スルコトガ出來ナイ、是亦私ハ絕對相互主義ヲ御採リニナツタモノデアラウト考ヘルノデアリマス、斯ノ如キコトニナリマス、未ダ加入セザル所ノ組合ハ中央金庫ノ恩典ニ浴スルコトガ出來ナイ、又將來設立サレル所ノ組合モ、此恩典ニ浴スルコトガ出來ナイ、ソコデ社會政策ヲ加味シタル所ノ中央金庫デアルト言ハレルナラバ、所謂平等ニ產業組合以外ノモノニ貸セト云フ譯デアリマセヌ、所謂產業組合ノミニ金ヲ貸ス、庶民階級ニ金ヲ貸スト云フ結果ニ相成ルノデアリマス、ソコデ未當ノ社會政策ト云フコトガ實行セラレテ參ル、故ニ「所屬」ト云フ文字ヲ削ッテ、絕對相互主義ヲ排シテ相對相互主義ト致シタラドウデアラウ、或ハ論者ハ斯ウ言ハレルカモ知レヌ、募集上一ツノ掛引デ斯ウシテ置イタ、斯ウサハスレバ立ロニ出資ノ募集モ出來ルデアラウ、斯ウ云フ議論ガアルカモ知レヌ、所ガ募

集ハサウ困難ナモノジヤナイト考ヘル、何故ナラバ日本ニ産業組合ガ一万五千、或ハモット多イカモ知レマセヌ、所ガ此千五百萬圓ノ金ヲ組合ガ出スト致シマシタナラバ、一ツノ組合ガ千圓出シタラ宜イノデアリマス、最高迄出シテ千圓、而モ直ニ拂込ムカト言ヘバサウデナイ、第六條ニ依ルト五分ノ一拂込マカトナッテ居ル、五分ノ一ハ幾ラデアルカト云ヘバ二百圓デアアル、一ツノ組合ガ二百圓、如何ナル微弱ナ組合デモ出シ得ル今日ノ狀態デアアルノミナラス、先日産業組合代表者ノ會合ガ東京ニアッタ、御承知ノ通り中央會ニ於テ大購買組合——日本ヲ一區域ニスル所ノ大購買組合ヲ作ラウト、其時ニ寄リマシタソレ等ノ代表者ハ、ドウシテモ此中央金庫ノ設立ノ必要アリト云フ決議ヲ附帶決議ト致シテ居リマス、此方々ガ政友會ニモ參リマスシ、憲政會ヲモ訪問シテ居リマスガ、其代表者ハ斯ウ云フコトヲ言フテ居ル、ドウカ中央金庫ヲ早く設置シテ戴キタイ、吾々ハ出資ハ幾ラデモ應募致シマス、募ニ應ジマス、吾々ノ意見トシテハ、少クトモ一億萬圓位ナ大キナ中央金庫ニシテ貴ヒタイ、ソレデモ吾々ハ出資ハ責任ヲ以テ引受ケル、斯ウ云フコトヲ言ウテ歸ッテデアリマス、サウシテ尙ホ斯言ウテ居ル、此十三條ノ「所屬」ト云フ文字ヲ削テ呉レ、決シテ吾々ハ「所屬」ト云フ文字ガ有ルガ爲ニ應ズル、無イガ爲ニ應ジナイト云フヤウナコトハ無イ、丁度眞宗ノ門徒ガ本願寺ヲ建テルガ如キ考ヲ以テ、中央金庫ノ設立ヲ望ンデ居ルノデアアルカラ、出資ハ何時デモ應ズル、斯ウ云フ手紙ヲ澤山寄越シテ居ルノミナラス、中央會ニ於テモサウ云フ手紙ヲ澤山受ケテ居ル實情デアアルガ、矢張り或ル論者ノ如ク、募集上ニ於テ何等困難ノナイコトヲ私ハ考ヘルノデアリマス、仍テ此「所屬」ト云フ文字ヲ御取リ下サル御考ナキヤ否ヤ、是ガ第二問デアリマス、第三問ト致シマシテ年賦貸付ノ件デアリマスガ此年賦貸付ト云フコトガ定メテナイイキニ思ヒマス、所ガ産業組合ヲ定メナケレバ、産業組合ヲ發達セシムル上ニ於テ、非常ナ障害ガアルト思フノデアリマス、ソレガドウ云フ點デアアルカ、即チ今日農村ニ於テ最モ必要ナモノハ農業倉庫デアリマス、ソレカラ又自作農ノ維持創設デアリマス、ソレカラ其次ニハ農村ニハ金ガ無イト云フ方ガアル、私ハ有ルト思フ、金ハサウ不十分デハナイ、有ルコトハ有ルガ、唯、金ガ合本ノ集團ノ働ラ致シテ居ラヌト云フノガ今日農村ノ現狀デアリマス、故ニ農村ノ金、又低利資金ナラ低利資金ト云フモノヲ農村ノ組合ガヤリマシタナラバ、其金ヲ集團ノ働ラセシメタイ、集團ノ働ラセシメ、例ヘバ白米ヲ拵ヘルコトニ付テハ電氣ノ機械ヲ使フ、或ハ穀摺機ヲ電氣應用デ付ケル、或ハ農業ノ「トラクター」或ハ各種ノ利用組合ヲ應用致シマシ

テ、團體的ノ副業ヲ獎勵セシムル爲ニ工場ヲ作ルトカ、若クハ氷ノ製造ノ如キコトヲ水ノアル組合ニ於テハスルトカ云フガ如ク、資本ヲ集團的ニ働カシテ見タイト云フコトガ、此農村ニ於テ今日最モ必要デアリマス、ソレ等ヲ致スニ付テハドウシテモ年賦貸付ノ制度ガナケレバ、完全ニ其等ノ事業ヲ行フコトガ出来ナイト考ヘル、更ニ都會方面ヲ見テモ、産業組合トシテ社會政策ヲ完全ニ實行スルトスルナラバ、或ハ公益浴場設置ノ必要モアリマセウ、或ハ簡易食堂ノ設置ノ必要モアリマセウ、又ハ實費診療所、庶民住宅ノ設置モ必要デアリマセウ、是等ヲ設置シ社會政策ヲ完全ニ行フニ付テハ、ドウシテモ年賦貸付ノ制度ガナケレバイカスト思フ、矢張其場合ニハ必シモ對人信用デナクトモ、擔保貸付ノ便法ヲ取テ宜カラウト思フ、所ガ勸業銀行、農工銀行デ、ソレニ擔保ヲ取テ貸スデハナイカト言ハレケレドモ、勸業銀行、農工銀行ハ、今日ニ於テハ實際ニ中産階級以上ノ機關ニナッテ居ル、實費診療、簡易食堂、或ハ庶民住宅、其他農業倉庫、自作農ノ維持創設若クハ農具、農村ニ在ル所ノ工場、或ハ農村ニ於ケル所ノ電氣ナドニ對シテハ、金ヲ貸サナイ今日ノ實狀ニナッテ居ル、ソレヲ補フニハドウシテモ此年賦貸付ヲ開クノガ必要デアナイカト思ヒマスガ、是ガ即チ提案者ニ對スル第三問デアリマス、第四問ト致シマシテ生産擔保ノ短期貸付ノ事デアリマス、條文デハ第十六條ノ第三ニナッテ居リマスガ、國債又ハ公債若ハ生産物ヲ擔保トスル三箇月以内ノ短期貸付又ハ手形ノ割引ヲ爲スコト「斯ウ云フコトニナッテ居ル、是ハ農村倉庫法ヲ見マス、農業倉庫法第十條ニ寄託物ノ保管期間ハ、寄託ノ日ヨリ六箇月以内、ソレデ農業倉庫法ハ六箇月デアアル、六箇月デ物ヲ預リ其場合ニ六箇月金ヲ貸ス、ソレヲ再割引ノ方法デ中央金庫カラ金ヲ借リルコトスレバ農業倉庫法ノ第十條ト一致シハシナイカ、ノミナラス實際ノ運用上偉大ナル效果ガアリハセヌカ、此四箇條ヲ提案者ニ御尋致シタノデアリマス、ソレカラ政府ニ二ツノ事ヲ御尋致シタイ、ソレハ聯合會信用貸付保證ニ關スル件デアリマス、是ハ昨日農商務次官ハ、此農工銀行デアアルカ、勸業銀行ハ、對人信用ノ場合ニ於テハ個人保證ヲ取テ居ル、併ナガラ聯合會ハ、斯ノ如キ事ヲ致シテ居ラス、斯ウ云フ御話デアリマシタガ、事實ニ於テ聯合會モ個人保證ヲ取テ居ルノデアリマス、東京ニ於テモ地方ニ於キマシテモ取テ居ル、ソレガ私ハ業務上當然ナ事デアルト思フ、個人保證ヲ取ラナカッタナラバ、聯合會ナラ聯合會ノ基礎ガ薄弱ニナル、何故カト云ヘバ、産業組合ハ加入脱退ガ殆下自由ニ相成ッテ居ル、ソレ故ニ一人減リ二人減リ、三人減リシテ、或ハ處ル自然消滅ノ如キコトニナリハシナイカ、其時ニ

何レノ方面ニ向ッテ債權者中央金庫ニ於テハ、其債權取立及債權確保ト云フモノガ出来ルカト云フコトニナリマスガ、株式會社ヤ他ノ銀行トハ餘程組立方違ッテ居ル、故ニ業務執行上積立ト同時ニ此保證ヲ取ルノガ當然デアアル、又個人ノ保證ヲ得ナケレバナラス、理事或ハ監事ニ於キマシテハソレダケノ責任ガアルト云フ考ヨリシテ、其責任觀念ヲ以テ組合ヲ發達シ、管理シ、經營スルコトニナランカト考ヘマスガ、此點ニ付テ政府ノ御意見ハ如何デアアルカ、昨日農商務次官ノ御間達ニナッテ居ラヌト云フコトニナラヌカト考ヘマスガ、現ニ角業務上個人保證ヲ取ルコトハ當然デハナイカ、又組合ノ積立ノ上カラ云ッテ、加入脱退ガ稍、自由ニナッテ居ルガ故ニ、自然消滅ト云フコトニナッタ場合ニ、債權ヲ確保スルコトガ出来ナイカラ、個人保證ガ必要デアナイカト思ヒマス、是ハ政府ニ御尋スル、其次ニ御尋スルノハ募集ノ事デアリマス、募集ハ非常ニ困難ナ如ク、提案者モ御考デアリマスガ、政府モ果シテ提案者ノ如ク、募集困難ト御感ジニナッテ居ルカドウカ、私ハ困難デハナイト思フ、縣郡村ニ斯ウ云フ趣意デアアルカラ募集ヲ申込メト云フコトニナレバ、立ロニ出來ルト思ヒマス、縣ナリ郡ナリ村ナリニソレダケノ仕事ヲ致シマシタラ、一ノ組合ニ於テ僅カ二百圓位ノコトデアリマス、ノミナラス直接通信ヲ以テ斯ウ云フコトダカラ申込メト云ヘバ、組合數ガ一万五千アル、何レニモ存在シテ居リマスカラ、通信ヲ以テモ募集スルコトガ出來ルト思ヒマス、又中央會ヨリ致シマシテ、書面ノ通信ヲ以テ募集スルコトモ出來ル、極メテ易イコトト思ヒマスガ、政府ノ御考ハ果シテ提案者ノ如ク困難ト思召サレテ居リマスガ、又私ガ只今想像スル如ク容易ト思フテ居ラル、カ、其點ヲ御伺シタイノデアリマス、此六問デアリマス

○牧野委員 只今土井委員カラ四箇條ニ亘ル質問ニ對シテ御答致シマス、第一ノ御質問ハ、第一條第二項ハ本規定ノ全體ヨリ見テ、重複不必要ナヤウナ感ジハナイカト云フ御質問ト拜承致シマシタ、第二問ハ第十三條ニ「所屬産業組合」並ニ「産業組合聯合會」トアルガ、此所屬ハ寧ろ此制限ヲ取ッタ方ガ適當デアリカ、第三問ハ年賦貸付ガ本法案ノ中ニハ規定シテナイケレドモ、是ハ本法案ノ中ニ入ルヲ適當トシナイカ、第四問ハ第十六條ノ第三號ニ「生産物擔保ニ依リ貸付ヲ三箇月トシテアルノヲ、六箇月ニ改ムベキモノ」デアリカ、斯様ニ拜承致シマシテ御答ヲ致シマス、第一條第二項ニ關スル御質問ハ極メテ適切ナル御質問ト存ジマス、唯、立案者ガ何方故ニ斯ノ如ク謂ハ、自明ノ事ヲ規定シタガ、重複ノ嫌アル事ヲ規定シタカト云フ、成程究メテ見レバソコニ來ルノデアリマス、サリナガラ老婆心ガアッテ此規定ヲ入

レマシタ、ソレハ産業組合ノ御承知ノ通り有限責任、無限責任、  
保責任ノ三種アリマス、産業組合ノ中心トスル中央金  
庫ハ有限責任カ、無限責任カ、將タ保責任ヲ有スルモノカ  
ト云フコトニ對シテ、先ツ第一條ハ性質ヲ規定スルモノカ  
カラ、其際ニ於テハ總テ條文ヲ見レバ直ニ分ルコトデア  
ケレドモ、特ニ此規定ハ全體ヲ見ル人ニ、第一條ニ於テ其性  
質ノ判然スルヤウニシテ置イタ方宜クナイカ、其點ニ於  
テ有責任ノコトヲ此所ニ講クナラバ、又後段ニ於  
テ産業組合聯合會及産業組合ヲ以テ之ヲ組織スト云フテ居  
リマス、是モ亦第七條ノ規定ヨリ見マスレバ後段ハ不必要  
デアリマス、不必要ナルコトモ認メテモ宜イト思ヒマス、然  
ラバ何故此所ニ持テ來タカト云ヒマス、本金庫ハ御承知  
ノ通り、出資者ハ第五條ノ規定ニ依リマシテ政府、産業組合  
聯合會、並ニ産業組合ノ三ツニナツテ居リマスガ、出資者ヲ  
三ツニ組織スルカ、ソレトモ其他ニ依ッテ組織スルカト云フ  
説モ出ルト思ヒマス、故ニ政府ハ出資ハスルケレドモ組織  
デハナイ、組織者ハ産業組合並ニ産業聯合會ノ二ツニ限  
ト云フコトヲ、先ツ此法案ヲ見ル人ニ、サウシテ之ヲ規定ス  
ル上ニ於テ、第一條ハ根本性質ヲ一般ニ分ラシメルヤウ  
ニ、内容ト其方針トヲ示スモノニシタ爲ニ、第二項ノ如  
キ規定ヲ爲シタノデアリマス、サリナガラ之ヲ實際理論  
的ニ之ヲ攻究シ、學問的ニ究メタトキニ於テ、是ハ餘  
リニ實際ニ過ギテ老婆心ニ過ル規定デアルカ取テ、方  
條文ノ上カラ見テ適當デナイカ、斯様ナ論ガ起ルト思ヒ  
マスガ、何シロ産業組合ト云フモノ、現在ノ發達程度其  
他カラ考ヘテ、入レテ置イタ方適當デナイカ斯様ニ解  
シタ結果入レタニ過ギマセヌ、唯、立案者ノ此第二項ヲ入  
レマシタ趣旨ダケヲ申上ガテ置キマス、此點ニ付テ産業組  
合中央金庫ノ構成ニ付テ、絕對相互主義相對相互主義ニ關  
スル御話デアリマシタガ、之ニ付テハ餘リ多ク言フ必要  
ハナイト思フ、唯、今日相對主義、所謂土井委員ノ相對主義  
ナルモノニ向ハウトスル銀行ヲ造ラントシテ居ルト云フ御意見  
デアリマス、洵ニサウ云フ傾向ガアレバコソ此中央金庫ノ  
必要ガ出テ來ル、其點ハ土井委員ト全ク意見ヲ同ジク致シ  
マス、次ノ第二項ニ移リマス、第二項ノ十三條ノ「所屬ニ  
關スル御質問ニ付テハ、既ニ二度詳細ノ御答ヲ致シ居リ  
マス、此所答ヘテアリマスカラ、速記録ヲ見テ下サイト云フ  
コトハ洵ニ冷淡ナ御答ノヤウデ恐縮デアリマスケレドモ、  
サウシテ下サイマシタ方此際適當ト存ジマスカラ、ドウ  
カ速記録ヲ見テ戴キタイト思ヒマス、唯、一言申シテ置キ  
タイト「ハ」所屬」ト云フコトヲ入レタト云フコトニ付テハ非

常ニ説ガ多イノデアリマス、入レナイ方宜イ、入レタ方  
宜イト云フ説ガ多イノデアリマス、唯、本金庫ヲ如何ナル  
方面ニ保育シテ行クカト云フ其方面ニ重大ナル關係ガアル、  
是以上ハ私ガ言ハナクテモ、ソコニ立案者ニ於テ多大ノ意味  
ノアルコトヲ土井委員ハ幸ニ御推察下サレト、思ヒマス  
故ニ此點ハ此程度ニ於テ御答ヲ止メテ置キタイト存ジマス  
第三項ニ付キマシテ年賦貸付ノ件ニ付テ御質問モ亦、是  
ハ二日ニ涉リ委員ノ質問ニ御答シテアリマスカラ、此際ニ  
於テ是モ其速記録ヲ御覽願ヒタイ、第四項ノ十六條ノ三  
號三箇月ヲ六箇月ニシタラト云フコトノ理由ト致シテ、農業  
倉庫法ノ第十條ニ農産物ノ寄託ニ付テハ六箇月ト規定シテ  
アル、故ニ彼此連絡ヲ取ラシムル上ニ、六箇月ト如何カト  
思フト云フ御意見デアリマス、是ハ御意見トシテ承テ置キ  
タイト存ジマス、之ヲ要スルニ土井委員ノ第一ヨリ第四ニ  
涉ル御質問ハ、洵ニ理想トシテノ御主張ハ御尤デアリマス、  
斯様ナモノヲ目安トシテ吾々ハ進ンデ行キタイト思フ、土  
井委員ノ主張サル、ガ如キ所ニ、吾々ノ進ムベキ目標ヲ置  
イテ進ミタイト思ヒマス、併シ今茲ニ之ヲ新ニ作ルノデア  
ル、新ニ作ルトキニ餘リ理想ニ走ルト云フコトハ産ミ出ス  
ニ困難ナルノミナラズ、之ヲ保育スル上ニ非常ナル困難ガア  
ル、理想ハ當ニ其通りデアリマスガ、之ヲ育テ、行ク上ニ付テ  
ハ、數年若クハ十數年ヲ要スルコト、考ヘマスノデ、唯、目  
標ハ其所ニ置クケレドモ、先ヅ之ヲ産ミ出シテ、獨リ立ツ  
マデニ育テ上ゲルニハ、如何ナル方法ニシタガ便宜デアラ  
ウカト云フコトヲ此際熱心ニ眞面目ニ考慮シテ戴キタイト  
私ハ本案ニ付テ從來承テ各種ノ御質問ハ、總テ御贊成ノ  
アル所ヲ根據トシテノ御質問デ、極メテ適切ナル御質問ト  
信ジマス、併ナガラ其御質問ハ理想ノ點ニ於テハマダルッ  
コイ點ガアリハシナイカ、缺クル所ガアリハシナイカト云フ  
御質問デアリマスケレドモソレハ御不満ノ點モ多クアリマ  
セウケレドモ、之ヲ育テ上ゲルニ付テハ非常ナル困難ガアル  
ノミナラズ、産ミノ若シニ於テ多少吾々ハ考ヘナケレバナ  
ラス、ソウ云フ點ニ於テ此條文ニ對シテ、相當寛大ノ御處置  
ヲ願ヒタイト思ヒマス、之ヲ以テ答辯ヲ終リマス

ヲ取リマスルト云フコトハ、是ハ信用ノ性質上已ムヲ得  
事グラウト思ヒマス、唯、産業組合ニ於テハ脱退ガ自由アデ  
ルカラ、隨テ産業組合ガ消滅スルヤウナ處ガアルカラシテ、  
個人保證ヲ取ルノデハナイカト云フヤウナ御質問デアリマ  
シタガ、私共ノ觀察デハ、産業組合等ガ消滅致ス場合ト云フ  
モノハ事實上少イグラウト信ジマス、唯、貸借關係ニ於テ  
信用ニ屬シマスルカラシテ、信用ノ程度ノ薄キモノニ付テ  
ハ茲ニ個人保證ヲ取ルト云フコトハ、是ハ業務ノ性質上已  
ムヲ得事デハナカラウカト私ハ信ジマス、唯、勸業銀行、  
農工銀行等ト比較シテ、聯合會ノ場合ニ於テハ、比較的組合  
員ノ信用ヲ最モ能ク存ジテ居リマスカラ、個人保證ヲ取ル  
場合ガ少ナイト云フコトハ事實デアリマス、ソレカラ第二  
間ノ點ハ、一千五百万圓ノ出資ハ政府ハ困難ト認メテ居ル  
カドウカト云フ御質問デアリマス、私共ノ考ト致シマシテ  
ハ、土井委員ノ御考ニナツテ居ル程樂觀ハ致シテ居リマセ  
ヌ、立ロニ是ガ出來ルト云フマデニ樂觀ハ致シテ居リマセ  
ヌケレドモ、此案ノ如ク一千五百万圓ノ程度ニ、而モ最初五  
分ノ一ノ拂込ヲシ、而シテ相當年限ヲ置イテ全部ヲ拂込ム  
ト云フコトニ付テハ、大體ニ於テ應募出來得ルコト、私共ハ  
信ジテ居リマス、唯、此一千五百万圓ト云フモノニ付キマ  
シテ、出來得ル限リ廣ク多クノ産業組合ニ之ヲ求メサセテ  
イト云フ考カラ致シマシテ、土井委員ノ如キ樂觀的考ハ持  
テ居リマセヌガ、併ナガラ現在ノ産業組合カラシテ、ドレモ  
構ハズ一千五百万圓應募セシムルト云フコトハ、是ハ左程  
困難トハ私共考ヘテ居ラスノデアリマス、唯、廣ク之ヲ求  
メルト云フコトニ付テハ、只今申上ガマス如ク、土井若ノ如  
キ樂觀的考マデハ持ッテ居ラス次第デアリマス

○土井委員 能ク解リマシタカラ質問ヲ打切りマス  
○下岡委員 昨ハ昨日質問ヲ打切りマシタガ、大藏當局ガ  
見エテ居ラナカッタカラ質問シマセヌデシタガ、只今見エテ  
居ルヤウデスカラ一寸殘リノ事ヲ御尋シテ置キマス、此政  
府ノ出資金ハ、矢張低利資金カラデモ御出シニナル豫定デ  
アルカ、或ハ普通ノ豫算ヲ要求ナサル御積リデアアルカ其點  
デアリマス  
○黒田政府委員 此案ガ成立致シマシテ、政府カラ法文通  
リ出資ヲ致スコトニナリマスレバ、御尋ノヤウニ追加豫算  
ヲ出資シナケレバナラヌト考ヘテ居リマス  
○紫安委員 第十三條ト第十四條ノ規定ニ付テ提案者ニ伺  
ヒマスガ、第十三條デハ無擔保ヲ以テ定期償還貸付ヲ爲ス  
ノ規定ガアリ、第十四條デハ必要ト認メタル場合ニ於テ、擔

保ヲ徵シテ貸付ヲスルト云フコトニナツテ居リマスガ、サウ  
スルト理事者ノ手心如何デ、甲ノ組合ニ對シテハオ前ノ方  
ハ擔保無シテ貸シテヤル、乙ノ組合ニ對シテハ、オ前ノ方ハ  
擔保ガ必要ダト云ハレタル場合、非常ニソコニ弊害モ起レバ、又  
組合ニ取テハ困ル場合ガ出來ハセヌカト思ヒマス、ソコデ  
無擔保デ貸付ヲ爲スト云フコトヲ原則トスルナラバ、擔保  
ヲ取ルト云フコトニ付テハ、其場合ニハ評議員會ノ議決ヲ  
經ルトカ何トカ、此所ニ一ノ規定ヲ置カナケレバ、將來本案  
ノ運用上ニ弊害ヲ生ズルコトガナイデアラウカ、此點ニ付  
テ提案者ノ意見ヲ伺ヒマス

○牧野委員 只今ノ紫安委員ノ御質問ニ御答致シマス、本  
法案ノ第十三條ト、第十四條トノ關係ニ付テノ御質問、其中  
第十四條ハ擔保ヲ徵シテ貸セルト云フコトニナツテ居ルト  
云フ點デアリマスガ、ソレニ付テハ正ニ現在ノ特殊銀行  
ト全然其原則ト例外ト逆ニシタコトヲ示シタノデアリマ  
ス、現在ノ特殊銀行ニ於テハ、御承知ノ如ク擔保ヲ原則トシ  
テ無擔保ヲ例外トシテ居リマス、是ハ無擔保ヲ原則トシテ  
擔保ヲ例外トシテ居リマス、何故ニサウシタカ、一方ハ産業  
助長機關デアリ、一方ハ社會政策實行ノ機關デアル、斯様ナ  
所カラ、兩者其原則ト例外トニ相違ガアルト御承知ヲ願ヒ  
タイ、而シテ擔保ヲ徵スルコトヲ理事者ニ一任スルコトハ  
弊害ガ無イカ、時ニ弊害ナキヲ保シ難シト雖モ、之ヲ制限ス  
ルコトハ却テ大ナル弊害ガアルト思フ、即チ適當ナル理事  
者ノ頭ニ於テ之ヲ決スルノデアリマスカラ、若シ之ニ多ク  
ノ制限ヲ付スルナラバ、餘リニ膠柱ニ膠スルヤウニナツテ、  
運用スルコトガ出來ヌト考ヘマス、此點ニ關スル弊害ハ然  
ルベク緩クスル方法ノアルコト、思ヒマス、矢張是ハ斯ウ  
シテ置イタ方ガ運用ノ妙ヲ得ルニ至ルカト思ヒマス

○守屋委員 第十七條ニ「無擔保ニテ借入ヲ爲シタル府縣  
郡市町村其ノ他法律ニ依リ組織セル公共團體ニ於テ元利金  
ノ拂込期日ヲ過キ之ヲ拂込マサルトキハ又ハ期限前ノ償還請  
求ニ對シ其ノ拂込ヲ爲ササルトキハ産業組合中央金庫ハ監  
督官廳ニ其ノ處分ヲ請求スルコトヲ得」ト云フ條項ガアリマ  
ス、此條項ハ農工銀行法ニモ勸業銀行法ニモ書イテアリマ  
スガ、果シテ斯ウ云ウ風ナ條項ヲ、今日迄適用シタ例ガアル  
カドウカト云フコトガ疑ハシイノデアリマス、其點ニ付テ  
政府委員ノ御説明ヲ願ヒマス

○黒田政府委員 近頃デハサウ云フ例ヲ聞カナイノデアリ  
マスガ、以前ニアッタヤウニ記憶致シテ居リマスガ、只今明  
確デアリマセヌ、後程迄ニ調ベマシテ申上ゲルコトニ致  
シマス

○守屋委員 モウ一應御尋シタイ、府縣ナリ市町村ト云フ  
モノハ、相當ニ法律ノ規定ニ依ッテ發達シタル團體デアル、  
ソレガ借入金ヲシテ其元利金ヲ支拂ハナイト云フヤウナコ  
トハ、今日ニ於テハ無イト思ヒマス、斯ル條項ヲ農工銀行法  
ナリ勸業銀行法ナリニ設ケテアルト云フノハ、農工銀行勸  
業銀行ガ公共團體若クハ府縣ニ對シテ貸付ヲスルニ付テ、  
斯ウ云フ風ナ安全ヲ處分方法ヲ御設ケニナツテアルノデセ  
ウケレドモ、今日ノ場合デハ斯ウ云フモノハ不必要デナイ  
カト思ヒマス、政府ノ方デハ之ヲ矢張必要デアルト御認  
ニナツテ居リマスガ、其點ヲモウ伺ヒマス

○黒田政府委員 御質問ノ通り市町村等ニ於テ其例ハ全然  
記憶ガ無イノデアリマスガ、法律ニ依リ組織セル公共團體  
ト申シマス、耕地整理組合トカ水利組合ガ這入ッテ居ルト  
思ヒマス、ソレ等ニ付テ例ガ有ツタカト記憶ガアリマス、是  
等ニ付テハ後ニ調ベマスガ、御尋ノ通り市町村等ハサウ云  
フ例ハ大體無カラウ——無イモノデアラウト云フ考ヲ持ッ  
テ居リマス

○守屋委員 只今ノヤウナ御答デアリマスレバ、此第十七  
條ハ從來勸業銀行法農工銀行法ニハ書イテアリマスケレド  
モ、幸ヒ今日新シク出來ル此産業組合中央金庫法トシテハ、  
寧ロ取ツタ方ガ宜イヤウニ私ハ思フノデアリマス、政府ニ於  
テモ是ハ御同意下サルノデアリマスガ、ドウデアリマスガ、  
其點ヲモウ伺御致シマス

○荒井國務大臣 守屋君ノ御意見ニシマス、若シ萬一ニ  
モ延納義務不履行ト云フ場合ガ起キタトキニハ如何ナルコ  
トニナリマスガ、民事裁判所ニ其公共團體ヲ相手方ニシテ  
起訴スルコトニナリマスガ、是ハ實際ニ於テサウ云フ適用  
ガ無ケレバ之ニ越シタコトハ無論ナイ、併ナガラ萬ガ一ニ  
モ義務不履行ト云フ時ガアルト、結末ヲ著ケル手段ダケハ  
書イテ置カナケレバ、ナラヌ、監督官廳ニ是等ノ公共團體ニ  
對シテハ、豫算ヲ拵ハセル場合ガアル、其豫算ニ於テ是等ノ  
義務ヲ履行スルダケノ支出ヲ命ジ得ル地位ニ居ル、ソレデ  
此提出ガ必要ニナツテ居ルモノト思ヒマス、故ニ適用ガナケ  
レバ結構デアリマスケレドモ、貸付金ノ結末ヲ著ケテ行ク  
ニ政府ハ必要デアラウト考テ居リマス

○武藤委員長 別段御質問ハゴザイマセヌカ、大體ノ質問  
ハ無イヤウデアリマスカラ、是デ終リシタモノト認メマス、  
今日ハ是ニテ會議ヲ閉ヂマシテ、更ニ二三十分間是カラ懇  
談會ヲ引續イテ開イテ、速記ヲ廢シテ非公式ニヤリタイト  
思ヒマス

○星島委員 此案ニ付キマシテハ各派ヲ超越シテ議ス  
ルト云フ精神ガ委員間ニモアリ、大變ニ喜ンデ居ル次第  
アリマス、殊ニ牧野委員ノ説明ノ中ニモ、修正シテモ宜イカ  
ラ成立セシメタイト云フ御精神ガアルノデ喜ンデ居リマ  
ス、懇談會モ結構デアリマスケレドモ、モウ一步進ンデ少數  
ノ委員——委員會デモ開イテ戴キマシテ、或ハ修正シテモ  
宜シイト云フ簡條ニ付キマシテ、極メテ懇談ヲモウ一層徹  
底シテヤッタナラバドウカ、色々ノ點ニ付マシテ寧ロ一般ノ  
懇談會ヨリモ、委員長御指名ノ各派ヲ網羅シタ小委員會ヲ  
御開ニナツタ方ガ却テ宜イト思ヒマス、私ハ本案ノ「ベス  
ト」ヲ盡ス爲ニ、小委員會ヲ開カレンコトヲ希望シマス

○瀧委員 星島君カラ小委員會ノ説ガ出マシタガ、私ノ考  
ヘル所ハ、限定サレタ小委員會ヨリモ、先ヅ此中デ御差支  
方ハ御出ニナラヌデモ宜シウゴザイマスガ、成ベク限定シ  
ナイデ、皆ノ方ガ御集リニナツテ、四角張リテ言ヘナイ點ニマ  
デモ十分ニ懇談的ニ御話ニナツテ、更ニ政府ノ同意ト云フ  
トガ出來タナラバ聽イテ、其上デ又ドウニカ方法ヲ考ヘラ  
レルト思ヒマスカラ、先ヅ差當リ懇談會ヲ開カレタガ宜シ  
クハナイカト思ヒマス、決シテ星島君ノ御意見ヲ遮ラ譯デ  
アリマセヌガ、其方ガ宜イト思ヒマスノデ、懇談會ノ考ヲ持ッ  
テ居ル次第デアリマス

○瀧委員 宜シウゴザイマス

○武藤委員長 薩談會ニシテハ如何デアリ  
マスガ、提案者ニ於テモ此案ニ對シテハ、牧野君ヨリ御答ガ

アリマシク、又私提案者ノ一人ト致シマシテ、之ニ付テハ總  
テ自信ガアリマス、サウ申シマスルト甚ダエラサウデゴザイ  
マスガ、政府ニ於テモ今日所信ガ矢張アルデアラウト考ヘ  
テ居リマス、是ハ懇談會ヲ進メテ行ケバ、矢張小委員會ヲ  
ヤツト同ジ事デ、私ハ此案ガ玉成スルト云フコトヲ信ズル  
モノデゴザイマスカラ、茲ニ採決ヲシナイデ、懇談會ニ御贊  
成ヲ願フ方ガ大變宜イト思ヒマス

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○武藤委員長　ドウカサウ云フコトニ願ヒマス、ソレデハ  
本會ノ會議ハ是デ散會致シマシテ、是カラ速記ヲ廢シマシ  
テ懇談會ヲ開キマス、ソレカラ政府委員ノ御方モ速記ヲ取ラ  
ズニ、責任ヲ取ラスニ一緒ニナッテ御話ヲ願フ方ガ宜カラウ  
ト思ヒマス、但シ秘密會デアリマセヌカラ傍聽ハ差支アリマ  
セヌ

午前十一時四十二分散會

大正十二年三月二日印刷

大正十二年三月三日發行

衆議院事務局

印刷者 印刷局